

米国農務省穀物等需給報告(2020年2月11日発表のポイント)

令和2年2月12日
大臣官房政策課食料安全保障室

米国農務省は、2月11日(現地時間)、2019/20年度の10回目の世界及び主要国の穀物・大豆に関する需給見通しを発表した。その概要は以下のとおり。

－2019/20年度の穀物の生産量は消費量を下回る見込み

1. 世界の穀物全体の需給の概要(見込み)

- ① 生産量: 26億6,287万トン(対前年度比 1.4%増)
- ② 消費量: 26億7,086万トン(対前年度比 1.1%増)
- ③ 期末在庫量: 7億9,275万トン(対前年度比 1.0%減)
期末在庫率: 29.7%(対前年度差 0.6ポイント減)

【主な品目別の動向】

小麦 : 世界の生産量は、EU等での増産から、前年度を上回る見通し。一方、世界の消費量は増加する見通し。世界の生産量が消費量を上回り、期末在庫量は前年度より増加し、史上最高となる見通し。なお、増産となったEU等で輸出量が増加する見通し。

- ① 生産量: 7億6,395万トン(対前年度比 4.4%増)・・・EU、ウクライナ、インド、中国等で増加、カザフスタンで減少
- ② 消費量: 7億5,419万トン(対前年度比 2.3%増)・・・EU、中国、インド等で増加
- ③ 期末在庫量: 2億8,803万トン(対前年度比 3.5%増)・・・中国、インド等で増加、米国で減少
期末在庫率: 38.2%(対前年度差 0.4ポイント増)

とうもろこし : 世界の生産量は、南アフリカ等で降雨に恵まれ生産量がわずかに上方修正されたものの、前年度より減少する見通し。世界の消費量は、米国で消費量が増加するものの、EU等で減少し前年度より減少する見通し。世界の生産量が消費量を下回り、期末在庫量は前年度より減少する見通し。

- ① 生産量: 11億1,159万トン(対前年度比 1.0%減)・・・中国、ロシア、南ア等で増加、米国、メキシコ等で減少
- ② 消費量: 11億3,522万トン(対前年度比 0.7%減)・・・中国、米国等で増加、EU等で減少
- ③ 期末在庫量: 2億9,684万トン(対前年度比 7.4%減)・・・中国、米国、メキシコ等で減少
期末在庫率: 26.1%(対前年度差 1.9ポイント減)

米(精米) : 世界の生産量は、タイで乾季米の減産見通し等から、前年度より減少する見通し。世界の生産量は消費量を上回り、期末在庫量は前年度より増加する見通し。

- ① 生産量: 4億9,622万トン(対前年度比 0.6%減)
- ② 消費量: 4億9,313万トン(対前年度比 1.3%増)・・・インド等で増加
- ③ 期末在庫量: 1億7,809万トン(対前年度比 1.8%増)・・・中国等で増加
期末在庫率: 36.1%(対前年度差 0.2ポイント増)

2. 世界の大豆需給の概要(見込み)

世界の生産量は、ブラジルで主産地のマトグロッソ州が天候に恵まれたことにより生産量がわずかに上方修正されたものの、前年度より減少する見通し。世界の生産量が消費量を下回るため、期末在庫量は前年度より減少する見通し。なお、中国は、搾油需要の増加から輸入量が増加する見通し。

- ① 生産量: 3億3,940万トン(対前年度比 5.4%減)・・・ブラジル、中国等で増加、米国、アルゼンチン等で減少(前月に比べブラジルで上方修正)
- ② 消費量: 3億5,106万トン(対前年度比 2.2%増)・・・アルゼンチン等で増加
- ③ 期末在庫量: 9,886万トン(対前年度比 11.1%減)・・・中国等で増加、米国、アルゼンチン等で減少(前月に比べ中国で上方修正)
期末在庫率: 28.2%(対前年度差 4.2ポイント減)

世界の穀物・大豆の需給動向

(米国農務省2020年2月11日発表)

【穀物】

(単位：百万トン)

項目 \ 年度	2017/18	2018/19 (見込み)	2019/20			(参 考) 2012/13
			(予想)	前年度比 (期末在庫率は 「前年度差」)	前月差	
全体						
生産量	2,619.05	2,626.23	2,662.87	1.4%	0.0	2,295.6
消費量	2,599.98	2,642.79	2,670.86	1.1%	1.1	2,284.6
期末在庫量	817.29	800.74	792.75	▲ 1.0%	▲ 0.1	478.2
期末在庫率	31.4%	30.3%	29.7%	▲ 0.6	0.0	20.9%
小麦						
生産量	762.88	731.45	763.95	4.4%	▲ 0.4	660.4
消費量	741.75	737.01	754.19	2.3%	▲ 0.2	680.3
期末在庫量	283.83	278.27	288.03	3.5%	▲ 0.1	179.5
期末在庫率	38.3%	37.8%	38.2%	0.4	0.0	26.4%
粗粒穀物						
生産量	1,361.34	1,395.60	1,402.70	0.5%	0.9	1,159.3
消費量	1,376.07	1,419.03	1,423.54	0.3%	2.1	1,139.6
期末在庫量	370.90	347.47	326.63	▲ 6.0%	▲ 1.1	175.7
期末在庫率	27.0%	24.5%	22.9%	▲ 1.5	▲ 0.1	15.4%
とうもろこし						
生産量	1,079.90	1,122.73	1,111.59	▲ 1.0%	0.8	898.9
消費量	1,090.40	1,143.54	1,135.22	▲ 0.7%	1.8	877.4
期末在庫量	341.28	320.47	296.84	▲ 7.4%	▲ 1.0	144.8
期末在庫率	31.3%	28.0%	26.1%	▲ 1.9	▲ 0.1	16.5%
米(精米)						
生産量	494.83	499.18	496.22	▲ 0.6%	▲ 0.5	475.9
消費量	482.16	486.75	493.13	1.3%	▲ 0.9	464.8
期末在庫量	162.57	175.00	178.09	1.8%	1.0	123.0
期末在庫率	33.7%	36.0%	36.1%	0.2	0.3	26.5%

【大豆】

項目 \ 年度	2017/18	2018/19 (見込み)	2019/20			(参 考) 2012/13
			(予想)	前年度比	前月差	
生産量	342.09	358.65	339.40	▲ 5.4%	1.7	269.0
消費量	338.07	343.63	351.06	2.2%	1.0	265.1
期末在庫量	99.05	111.22	98.86	▲ 11.1%	2.2	58.1
期末在庫率	29.3%	32.4%	28.2%	▲ 4.2	0.5	21.9%

資料：米国農務省「World Agricultural Supply and Demand Estimates」(February 11, 2020)

「Oilseeds: World Markets and Trade」、「PS&D」

注：1) 穀物全体は、小麦、粗粒穀物、米(精米)の計。なお、各品目の計が全体の数値と合わない場合がある。

2) 小麦は、小麦及び小麦粉(小麦換算)の計。

3) 期末在庫率(%)＝期末在庫量×100／消費量

4) 年度のとり方は、品目及び地域により異なる。[例えば、米国では、小麦(6～5月)、とうもろこし(9～8月)、米(8～7月)、大豆(9～8月)]

5) 在庫率の前年度比及び前月差の欄は、前年度及び前月発表とのポイント差。

なお、表示単位以下の数値により計算しているため、表上では合わない場合がある。

6) (参考)は、直近の価格高騰の原因となった2012/13年度の需給について掲載。

7) なお、「Oilseeds: World Markets and Trade」、「PS&D」については、公表された最新のデータを使用している。

米国の穀物・大豆の需給動向
(米国農務省2020年2月11日発表)

【穀物】 (単位：百万トン)

項目 \ 年度	2017/18	2018/19 (見込み)	2019/20			(参 考) 2012/13
			(予想)	前年度比 (期末在庫率は「前年度差」)	前月差	
全体						
生産量	437.43	436.32	419.31	▲ 3.9%	0.0	353.0
消費量	357.95	357.64	362.43	1.3%	1.4	317.1
輸出量	94.57	83.39	77.37	▲ 7.2%	▲ 0.5	51.6
期末在庫量	88.76	91.28	78.08	▲ 14.5%	▲ 0.8	44.2
期末在庫率	19.6%	20.7%	17.8%	▲ 2.9	▲ 0.2	12.0%
小麦						
生産量	47.38	51.31	52.26	1.9%	0.0	61.3
消費量	29.25	30.02	31.71	5.6%	0.0	37.8
輸出量	24.66	25.48	27.22	6.8%	0.7	27.5
期末在庫量	29.91	29.39	25.58	▲ 13.0%	▲ 0.7	19.5
期末在庫率	55.5%	53.0%	43.4%	▲ 9.5	▲ 1.7	29.9%
粗粒穀物						
生産量	384.39	377.91	361.19	▲ 4.4%	0.0	285.3
消費量	324.41	323.05	326.50	1.1%	1.4	275.5
輸出量	67.16	54.94	47.01	▲ 14.4%	▲ 1.3	20.7
期末在庫量	57.92	60.47	51.54	▲ 14.8%	▲ 0.2	23.5
期末在庫率	14.8%	16.0%	13.8%	▲ 2.2	▲ 0.1	7.9%
とうもろこし						
生産量	371.10	364.26	347.78	▲ 4.5%	0.0	273.2
消費量	313.98	310.47	313.58	1.0%	1.3	263.0
輸出量	61.92	52.46	43.82	▲ 16.5%	▲ 1.3	18.5
期末在庫量	54.37	56.41	48.07	▲ 14.8%	0.0	20.9
期末在庫率	14.5%	15.5%	13.4%	▲ 2.1	0.0	7.4%
米(精米)						
生産量	5.66	7.11	5.86	▲ 17.6%	0.0	6.3
消費量	4.30	4.57	4.22	▲ 7.7%	0.0	3.8
輸出量	2.76	2.97	3.14	5.7%	0.0	3.4
期末在庫量	0.93	1.42	0.95	▲ 33.1%	0.0	1.2
期末在庫率	13.2%	18.8%	12.9%	▲ 5.9	0.5	16.1%

【大豆】

項目 \ 年度	2017/18	2018/19 (見込み)	2019/20			(参 考) 2012/13
			(予想)	前年度比	前月差	
生産量	120.07	120.52	96.84	▲ 19.6%	0.0	82.8
消費量	58.87	60.52	60.77	0.4%	0.0	48.6
輸出量	58.07	47.56	49.67	4.4%	1.4	36.1
期末在庫量	11.92	24.74	11.55	▲ 53.3%	▲ 1.4	3.8
期末在庫率	10.2%	22.9%	10.5%	▲ 12.4	▲ 1.4	4.5%

資料：米国農務省「World Agricultural Supply and Demand Estimates」(February 11, 2020)

「Oilseeds: World Markets and Trade」、「PS&D」

注：1) 穀物全体は、小麦、粗粒穀物、米(精米)の計。なお、各品目の計が全体の数値と合わない場合がある。

2) 小麦は、小麦及び小麦粉(小麦換算)の計。

3) 期末在庫率(%) = 期末在庫量 × 100 / (消費量 + 輸出量)

4) 年度のとり方は、品目及び地域により異なる。[例えば、米国では、小麦(6～5月)、とうもろこし(9～8月)、米(8～7月)、大豆(9～8月)]

5) 在庫率の前年度比及び前月差の欄は、前年度及び前月発表とのポイント差。
なお、表示単位以下の数値により計算しているため、表上では合わない場合がある。

6) (参考)は、直近の価格高騰の原因となった2012/13年度の需給について掲載。

7) なお、「Oilseeds: World Markets and Trade」、「PS&D」については、公表された最新のデータを使用している。

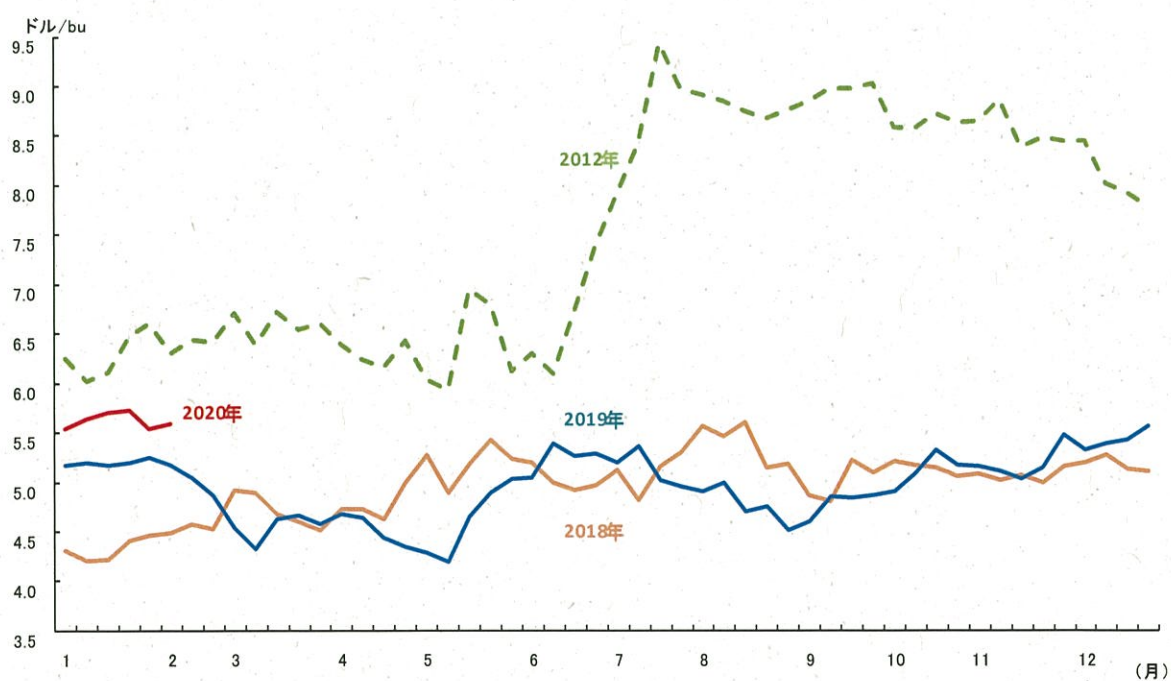
(参考1)

世界の穀物の価格動向 (2020 年)

● 小 麦 : 5.59 ドル/bu (前年同時期の価格 : 5.24 ドル/bu)

(価格は、シカゴ商品取引所における 2020 年 2 月第 1 週末の期近価格(セツルメント)。)

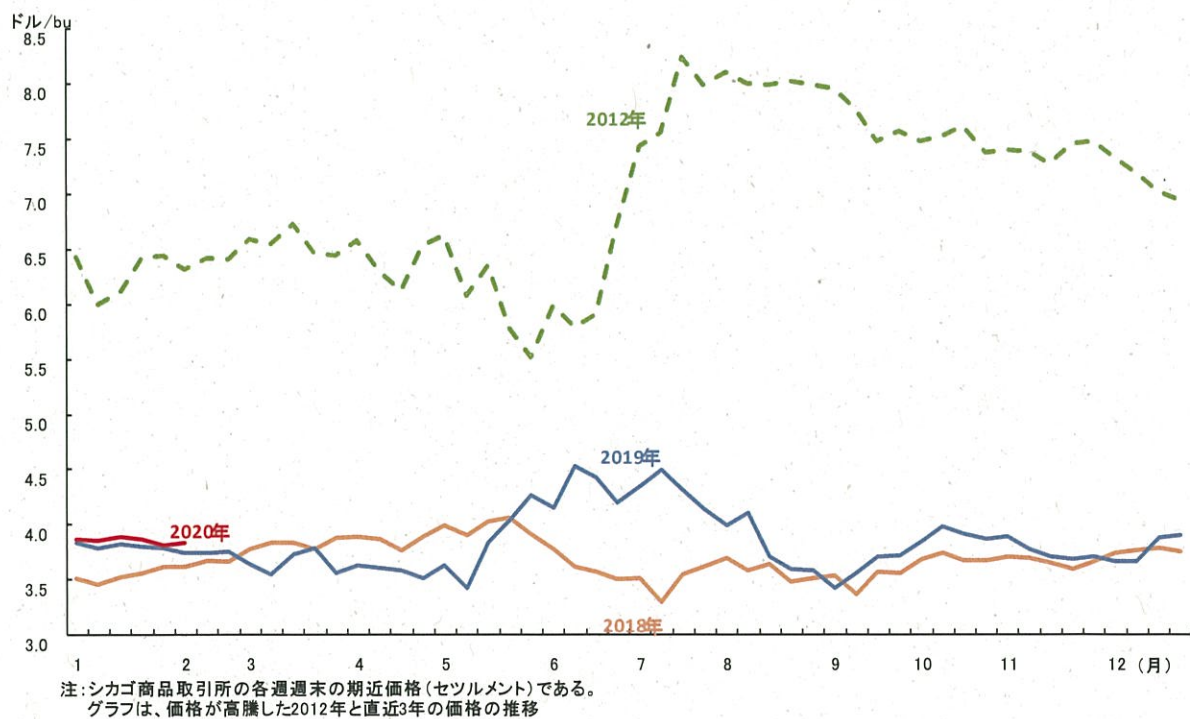
2020 年 1 月上旬以降、豪州での乾燥による減産見通し、フランスの鉄道等の長引くストライキに加えて港湾労働者によるストライキ等による穀物輸出への影響懸念、アルゼンチンの輸出税の引き上げ、ロシアの穀物輸出枠設定報道から 5 ドル/bu まで値をあげたものの、新型コロナウイルスによる肺炎拡大で需要が減退するとの懸念から値を下げ、1 月下旬現在、5 ドル/bu 台半ばで推移。



注:シカゴ商品取引所の各週週末の期近価格(セツルメント)である。
グラフは、価格が高騰した2012年と直近3年の価格の推移。

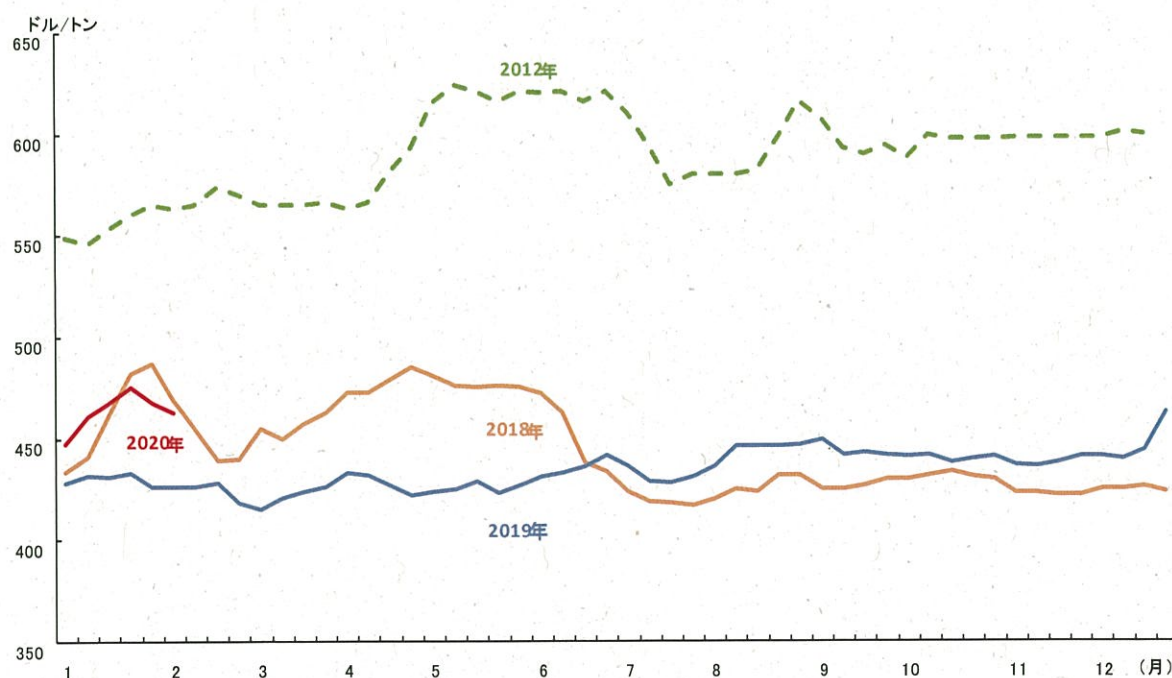
- とうもろこし : 3.84 ドル/bu (前年同時期の価格 : 3.78 ドル/bu)
(価格は、シカゴ商品取引所における 2020 年 2 月第 1 週末の期近価格(セツルメント)。)

2020 年 1 月以降、アルゼンチンが輸出税を引き上げたものの、米国農務省報告で米国の生産量が市場予想を上回ったこと、市場が米中通商協議の内容を弱材料と捉えたことや新型コロナウイルスによる肺炎拡大で需要が減退するとの懸念から、ほぼ横ばいとなり、1 月下旬現在、3 ドル/bu 台後半で推移。



- 米：463 ドル/トン （前年同時期の価格：426 ドル/トン）
（価格は、タイ国家貿易取引委員会における 2020 年 2 月の第 1 金曜日の FOB 価格。）

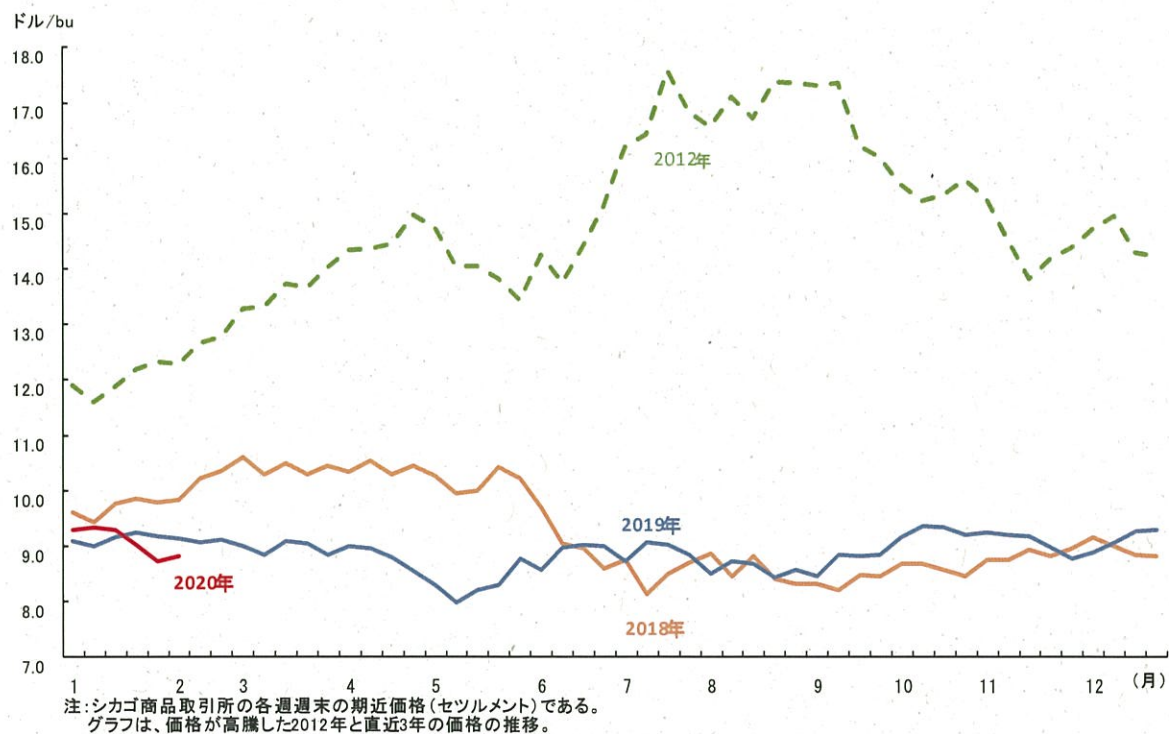
2019 年 1 月以降、タイ北部での降雨不足による乾季米の減産により、タイ産米の供給量が減少する見通しから値を上げ、1 月下旬現在、470 ドル/トン台半ばで推移。



(注) タイ国家貿易取引委員会、うるち精米 00 % 2 等の FOB 価格 (各週水曜日)
グラフは、価格が高騰した 2012 年と直近 3 年の価格推移。

- 大 豆 : 8.82 ドル/bu (前年同時期の価格 : 9.18 ドル/bu)
(価格は、シカゴ商品取引所における 2020 年 2 月第 1 週末の期近価格(セツルメント)。)

2020 年 1 月以降、南米の豊作見通しに加え、1 月中旬の米中通商協議の第 1 次合意に中国側
の大豆の追加関税撤廃が盛り込まれなかったこと、下旬からの新型コロナウイルスによる肺炎
拡大で需要が減退するとの懸念から値を下げ、8 ドル/bu 台後半で推移。



(参考2)

1 為替レート(対ドル円相場)

単位:円/ドル

2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年 1月
103.39	93.61	87.75	79.76	79.79	97.71	105.79	121.09	108.77	112.16	110.77
2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
107.82	106.00	107.43	109.69	110.03	111.37	111.06	111.89	112.78	113.37	112.45
2019年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
108.75	110.36	111.21	111.66	109.83	108.06	108.22	106.27	107.41	108.12	108.86
12月	2020年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
109.18	109.34									

出典：為替相場(東京インターバンク相場) 東京市場、中心相場 スポット・レート
 日本銀行; 主要時系列統計データ表 <http://www.stat-search.boj.or.jp/>
 年別は、日次データの平均値。月別は、月次データの月中平均。

2 海上運賃(フレート)

単位:ドル/トン

2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年 1月
93.65	50.71	63.59	54.88	49.18	46.63	44.35	30.30	27.92	38.48	45.20
2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
44.25	45.50	44.25	43.40	43.60	45.25	47.25	48.50	50.00	50.40	50.80
2019年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
45.25	40.00	40.80	41.75	41.25	39.75	51.13	50.56	51.02	45.78	37.60
12月	2020年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
37.68	39.40									

出典：米国(ガルフ)ー日本間、Heavy Grains, 50,000トン以上
 国際穀物理事会(International Grains Council); Ocean Freight Rates, 「World Grain Statistics」, 「IGC
 Grain Market Indicators」
 月別は、毎日価格の平均値(2020年1月は、1月2日から1月31日までの平均値)。

3 原油価格(WTI: 米国ウエスト・テキサス・インターミディエート)

単位:ドル/バレル

2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年 1月
99.65	61.80	79.53	95.12	94.21	97.97	93.00	48.80	43.32	50.95	63.66
2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
62.18	62.77	66.33	69.98	67.32	70.58	67.85	70.08	70.76	56.69	49.98
2019年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
51.55	54.98	58.17	63.87	60.87	54.71	57.55	54.84	56.97	54.01	57.07
12月	2020年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
59.80	57.92									

出典：内閣府経済財政分析統括官付海外担当「海外経済データ -月次アップデート-」令和2年1月, 120頁
 但し、2020年1月は、米国エネルギー情報局(U.S. Energy Information Administration)「Weekly Petroleum
 Status Report」の週別価格(12.30~1.31)の平均値。